

香川県知事 殿

(団 体 名) 特定非営利活動法人〇〇の会
(代表者職氏名) 理事長 〇〇 〇〇

香川県N P O基金補助金交付申請書

令和 7 年度香川県N P O基金補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

申請分野	団体指定寄附・分野指定寄附 (子ども 分野) ※どちらかに〇を付け、分野指定の場合は申請分野を記載してください。		
交付申請額	3 0 0 , 0 0 0 円 ※補助交付申請額は(別紙3)収支予算書の※の額と一致します。		
団体名	特定非営利活動法人〇〇の会		
住 所	(〒760-0000) 住所：〇〇市〇〇町△△-〇〇 TEL：087-000-0000 FAX：087-000-0000		
代表者の職名	理事長	ふ り が な 担当者氏名	しかく しかく □□ □□
ふ り が な 代表者氏名	まるまる 〇〇 〇〇	連絡先	000-0000-0000
職員の状況	常勤職員 5 人 その他職員 2 人	正会員数	12 人
団体の活動内容	(主たる活動分野) ※特定非営利活動促進法に規定する 20 分野の中から選択してください。 子どもの健全育成を図る活動 (これまでの活動内容の実績・成果) 子育て支援イベントの開催(年△回) 子育て広場事業(通年実施) 子育て相談事業(通年実施) 子育て支援〇〇〇事業(〇〇市からの受託事業) (活動のP R) ※ホームページや会報誌、SNSなど活動のPR方法を記載してください。 会報誌の発行(年△回)、ホームページ(http://*****) など		
直近の収支決算	経常収入額(a) 8 , 5 0 0 , 0 0 0 円 経常支出額(b) 8 , 5 6 0 , 0 0 0 円 収支差額(a-b) ▲ 6 0 , 0 0 0 円 次年度繰越正味財産額 5 0 0 , 0 0 0 円		

- 【添付書類】
- (1) 事業計画書(別紙1)
 - (2) 事業実施のスケジュール(別紙2)
 - (3) 補助申請事業に係る収支予算書(別紙3)
 - (4) 事業費の積算の根拠となる資料及び事業内容を理解するのに参考となる資料(任意様式：見積書、契約書、団体会報、パンフレット、新聞記事、写真など)

(別紙1)

事業計画書

事業名	子どもの居場所づくりと子育て相談事業
申請分野	団体指定寄附・分野指定寄附（ 子ども 分野）
事業実施の 動機・背景	※事業実施に至った経緯、必要性、目的などを記入してください。 少子化や核家族化の進行などの社会情勢の変化により、子育てを取り巻く環境や生活は不安の多いものになっている。行事等が減ったことにより保護者同士のネットワークが作れず、悩みを抱える保護者も多い。 子育て広場を卒業した小学生が夏休み等に気軽に立ち寄れる場所がないという悩みを多く聞くため、小学生対象の教室を夏休み等を実施することで、子どもたちや保護者の居場所を作り、孤立を防ぐ。
事業実施の 地域及び対象者	※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。 地域：〇〇市を中心とした▲▲地域 対象：乳幼児、小中学生とその保護者
具 体 的 な 事 業 内 容	※実施する事業内容について、具体的に記載してください。 子育てについて保護者同士が悩みを語り合う「子育てカフェ」と子どもの居場所づくりのための「子ども体験教室」を開催する。 ○子育てカフェ（子どもの年代別に3回程度） 同世代の子どもを持つ保護者が子育てにおける悩みを語り合う。保健師などの専門家にも参加してもらい、アドバイスなどが出来るようにする。テーマ決定や進行などは専門家と相談して実施。継続して相談した方が良い場合は、法人で実施しているSNS相談などにつなげる。 ○子ども体験教室（夏休み等に合わせて5回程度） 工作や料理、外遊び等色々な体験ができる講座を夏休み等に合わせて実施することで、広場に来るきっかけとし、子どもの居場所を作る。
期 待 さ れ る 効 果	※事業の実施がどのように今後の法人活動の活性化や基盤強化につながるのかを具体的に記載してください。 子育てカフェを実施することにより、同世代の子どもを持つ保護者同士のネットワークを作ることや悩みの共有、解決などができ、保護者の孤立を防ぐ。また、SNS 相談などの PR を行うことで、長いスパンでの支援ができる。 子育て広場を卒業した小学生を対象とした体験教室を実施することで、気軽に立ち寄ってもらえる子どもの居場所を作る。 対象となる子どもの年代が広がることで、より多くの方に法人を知ってもらうことができ活動の拡大につながる。
備 考	※その他、特にPRしたいこと等があれば記載してください。 〇〇市から委託を受け、▲▲事業を実施するなど、関係機関とも連携しながら子育て支援事業に取り組んでいます。

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加 予定者数
5 月	実施内容について検討 専門家の方への対応依頼		
7 月	開催準備（資料等の作成）		
8 ～ 12 月	子育てカフェ（3回予定） 8 月△日 第 1 回 テーマ ○○ 10 月○日 第 2 回 テーマ ■■ 12 月□日 第 3 回 テーマ ▲▲ …… 子ども体験教室（5回予定） 7 月△日 第 1 回 ○○を作ろう 8 月□日 第 2 回 □□教室 ……	保護者 小学生	10 名 × 3 10 名 × 5
1 月 2 月	効果の検証 来年度に向けた開催内容の検討		

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施するかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加予定者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 予 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
NPO基金補助金額	★ 300,000	
自己資金計		①+②+③+④
①参加料収入	40,000	500 円×3 回×10 人 (カフェ) 500 円×5 回×10 人 (体験教室)
②会費等		
③寄附金等		
④その他	2,000	※内容を具体的に記載してください。 法人会計より
その他助成金等収入計		①+②+③
①補助金収入		
②委託金収入		
③その他		※内容を具体的に記載してください。
その他資金収入		
合 計	342,000	

(注) その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	予算額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
報償費	87,000	87,000	座談会専門家謝金 @10,000×3 ワークショップ講師謝金 @5,000×5 当日スタッフ賃金 @1,000×2H×2×8 回
旅費	50,000	50,000	座談会専門家旅費 @3,000×3 ワークショップ講師旅費 @3,000×5 当日スタッフ旅費 @1,000×2 名×8 打ち合わせ旅費 @500×2 名×10
消耗品	20,000	20,000	文具等
印刷製本費	20,000 50,000	20,000 50,000	資料印刷 (8 回分) チラシ印刷 2,000 部×2
材料費	50,000	10,000	体験教室 1,000×5 回×10 人
通信運搬費	20,000	20,000	チラシ送付代 @94×200 円 その他資料送付代 1,200 円
委託料	30,000	30,000	チラシデザイン @15,000×2
使用料	15,000	13,000	体験講座会場使用料 @5,000×3
合 計	342,000	★ 300,000	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支予算を記入してください。